

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	356 こころとからだの健康教室						
予算科目	08-030201-11	こころとからだの健康教室事業に要す				担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約						係名	介護予防係
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（義務）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	認知機能向上を目的とした市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	一般介護予防事業として、認知機能向上を目的とした「脳元気アップ教室」を3クール開催する

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,909	1,680	412	412	
	決算額	(千円)	6,216	195	347	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-254	102	182	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,331	68	121	0	0
		その他	(千円)	4,139	25	44	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,714	2,720	1,367	2,734	2,734	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.20	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	教室参加者アンケート
評価、検証	教室参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	こころとからだの健康教室の参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	350.0	350.0	400.0	400.0	400.0
	実績	225.0	18.0	28.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	集合型教室に加え、コロナ禍での教室形態を模索し、配信型教室を実現した。	
成果	新型コロナウイルス感染症拡大により3クールすべてを集合型で実施することができなかったが、配信型教室を実現することで市民の学びを止めないための場を提供し続けることができた。	
課題	業務	ITを活用した教室の継続性について追及していくとともに、地区診断を根拠としてニーズの高い地域へのアプローチを検討していく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	今年度実現した配信型教室を生かし、次年度は配信型教室も1クール含めて実施する。また、開催地区は、地区診断から得られたニーズの高い豊里地区での実施を試みる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	357 介護支援ボランティア事業					
予算科目	08-030201-12 出前教室事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	新規・継続	継続
	Ⅱ-2	2	2	ボランティア事業の推進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業体制	一部委託
	根拠法令等	介護保険法				事業期間
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者の生きがいづくりを促進し、自身の健康増進や介護予防につなげる。
概要 (取組内容)	市内に住所を有する65歳以上（つくば市第一号被保険者）で要支援・要介護認定を受けていない方が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、当該登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を交付する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,542	2,337	2,181	2,181	
	決算額	(千円)	1,762	1,817	1,735	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	405	961	919	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	661	628	599	0	0
		その他	(千円)	696	228	217	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,419	1,422	1,428	1,428	1,428	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	介護支援ボランティア実活動者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	71.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実) (Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持つ社会参加の環境整備)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ボランティア活動が行えなかった登録者も多かったが、交流会を開催し、理学療法士からの講話と実技を交え自身の健康増進や介護予防について考え、情報の共有ができる機会を持つことができた。	
成果	新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動が困難な状況は継続していたが、少人数での交流会を行うことができた。また、ボランティア活動場所として、新たに移動スーパーの販売場所での購入補助を活動内容に追加することができた。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染症拡大により、受け入れ施設が少なくボランティアの活動ができなかった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 少人数での交流会を開催し、コロナ禍でもボランティア活動を継続するための情報共有や自身の健康増進や介護予防につなげる企画を行う。 介護保険施設以外にもボランティアを行える場所を拡大し、より多くの場で活動が行えるようにする。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	358 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの運営指導事務					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援の体制整備を行う。
概要 (取組内容)	地域包括支援センター、在宅介護支援センター定例会を実施し、活動状況や困難事例の共有・検討を行うことで、地域包括支援センターとランチである在宅介護支援センター間の連絡調整やネットワーク強化を行う。各地域包括支援センターの事業計画・実績報告作成の際に内容を確認し、助言を行う。毎月提出される相談票や実績報告を把握し、適切な相談支援に向けた指導を行う。市職員が各地域包括支援センターに出向いて、ケース共有会議を実施し、ケース支援について助言を行う。併せて、各センターの運営体制状況の確認を行い、不足事項についての指導を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	161,627	156,060	152,882	152,882	
	決算額	(千円)	9,512	135,000	140,533	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,188	25,988	32,323	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,493	77,962	81,158	0	0
		その他	(千円)	1,831	31,050	27,052	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,837	2,843	2,172	2,172	2,050	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	50.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9,417.0	11,694.0	10,330.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	地域包括支援センター・在宅介護支援センター（延べ）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	研修や相談支援の振り返り、関係機関との意見交換会・必要に応じた個別指導を行い、相談支援をはじめとする業務の対応力向上を図った。	
成果	毎月実施している定例会等を通して各センター職員の相談力の向上、地域連携ネットワークの構築、事業に対する共通理解の形成を図ることができた。	
課題	業務	研修等を通じ、地域包括支援センター職員の対応力の向上を図ることができているが、各センターの対応力の平準化が難しい。また、各センター間の連携体制が十分とは言えない。
	組織、予算等	高齢者人口の増加に伴い、センターで人員が足りず対応に苦慮している場合がある。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> センター間のネットワークを強化し、研修等を実施するとともに各センター間の連携強化を図る。 今後、地域包括支援センターの設置数、配置人員等について検討が必要である。 	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	359 総合相談・支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	II-1	3	1	地域包括支援センターの市内全域への配置	新規・継続	継続
	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業体制	一部委託	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の高齢者に必要な相談・支援を行う。
概要 (取組内容)	相談を受け、対象者のニーズに応じた適切なサービス利用に繋げる。直営の地域包括支援センターと市内6ヶ所に委託設置している地域包括支援センター、市内4ヶ所の在宅介護支援センターにおいて相談業務を実施する。

コストの推移

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円) 0	161,627	156,060	152,882	152,882	
	決算額	(千円) 123,245	145,693	147,429	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 28,346	28,048	33,909	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 71,174	84,136	85,140	0	0
		その他	(千円) 23,725	33,509	28,380	0	0
人件費	人件費計	(千円) 19,177	11,740	7,002	7,002	7,002	
	内訳	正職員従事割合	(人) 2.70	1.60	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間) 350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	相談件数（直営）					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2,003.0	1,764.0	1,330.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実)					

2	指標名	委託包括相談件数（6センター合計）					（件）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	9,763.0	11,330.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要							
3	指標名						（件）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要							
4	指標名						（件）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要							
5	指標名						（件）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要							

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和3年度から地域包括支援センターの業務委託の契約内容を変更し、世代や属性を問わず、相談を受けられる体制を整備することができた。	
成果	センター職員を対象とした各種研修会を実施し、相談対応力の向上を図ることができた。	
課題	業務	市として、委託センター職員の負担軽減、業務の効率化、実践力の向上、委託センター間の連携強化がなされるよう運営指導を行う必要がある。
	組織、予算等	委託センターが対象者支援を迅速に対応するため、市関係各課や関係機関との連携強化が必要である。
改善目標	高齢者が安心して暮らせるよう、市役所と委託センターとの連携を強化すると共に、委託センター運営の課題改善、体制整備に努める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	360 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の様々な社会資源を活用し、高齢者の在宅での生活継続ができるよう支援する。
概要 (取組内容)	介護支援専門員へ相談支援、サービス担当者会議支援 保健福祉関係者への 市内の保健福祉サービスや民間関連サービス情報提供 主任介護支援専門員、介護支援専門員に対する連絡会や研修会開催支援 圏域別ケア会議や在宅医療介護連携事業への出席

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	60	60	61	61	
	決算額	(千円)	62	55	51	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14	11	11	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	36	33	30	0	0
		その他	(千円)	12	11	10	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,729	1,049	1,732	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	150.00	150.00	150.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	介護支援専門員への相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	868.0	1,495.0	2,816.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	直営と委託包括支援センター（6か所）の相談件数の合計						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばケアマネジャー連絡会役員会で介護支援専門員のケアマネジメントにおける課題分析を行い、必要な情報についての研修会開催を行った。主任介護支援専門員連絡会では、経験の浅い介護支援専門員に対し、利用者のアセスメントをテーマとしたフォローアップ研修を実施した。
成果	ケアマネジャー連絡会、主任介護支援専門員連絡会の役員会、定例会を実施し、学びや交流の場を継続できた。困難事例は、委託地域包括支援センターと介護支援専門員への支援を行い、問題解決や介護支援専門員のスキルアップを図ることができた。多職種連携の研修会をとおして、地域包括ケアシステムの中で主任介護支援専門員の役割を理解し、2025年の介護支援専門員としてのありたい姿を意識づけできた。
課題	<p>業務 介護支援専門員、主任介護支援専門員連絡会の開催支援が必要。また、主任介護支援専門員は地域課題に目を向けてどのような活動をしていくか、医療との連携や、介護支援専門員としてのありたい姿に対して具体的な目標設定が必要である。</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	介護支援専門員、主任介護支援専門員連絡会のあり方について検討がされており、今後の組織再編成の支援を行う。介護支援専門員のマネジメントに直結する、社会資源の整備や必要な情報提供を行う。主任介護支援専門員としてありたい姿に向けた、研修会や意見交換会などを実施していく必要がある。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	361 権利擁護事務					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	権利侵害を受けている高齢者や、自ら権利を主張することや行使することが難しい高齢者の生活を支援する。
概要 (取組内容)	成年後見制度、日常生活自立支援事業等の活用促進を図る。 老人福祉施設等への権利擁護に関する研修の実施 高齢者虐待対応と養護者支援

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	192	192	0	
	決算額	(千円)	80	48	112	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19	12	26	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	46	27	65	0	0
		その他	(千円)	15	9	21	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,604	1,606	928	928	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	権利擁護相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	159.0	139.0	137.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	潜在化している高齢者虐待は存在していると考えられるため、民生委員児童委員協議会等で高齢者虐待の説明を実施し、高齢者虐待の周知啓発活動を行った。	
成果	地域包括支援センター、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス提供事業所等に対して、高齢者虐待対応研修を実施。迅速な対応・通報相談を依頼することができた。	
課題	業務	委託センターの虐待対応の平準化が必要である。虐待に関する相談・通報について共通認識を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	支援者だけでなく、一般市民に対しても周知啓発活動を実施していく。介護保険サービス事業所に対して高齢者虐待研修を実施し、虐待防止に取り組む。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	362 実態把握訪問					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	要介護状態になるおそれのある市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	閉じこもりや生活能力低下、認知機能低下、社会性の低下、医療等で関わり支援が必要な対象者へ訪問等を実施し介護予防につなげる。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,516	4,545	4,667	4,667	
	決算額	(千円)	5,136	5,532	4,542	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,181	1,272	1,043	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,966	3,195	2,624	0	0
		その他	(千円)	989	1,065	875	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,035	1,360	684	2,734	2,734	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.10	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	受診率、フレイルチェック

指標の推移

1	指標名	要支援者の実態把握訪問を実施する (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	350.0	350.0	400.0
	実績	249.0	595.0	328.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	コロナ禍において、高齢者台帳のみならず国保連が健診・医療・介護保険等のデータを管理する国保データベース（KDB）システムを活用することで新たな対象者を抽出し、支援の必要な高齢者の発掘と支援に取り組んだ。
成果	リハビリ重点者、重病ハイリスク者、低栄養者、未受診者等に対してアプローチを行い、幅広い高齢者の介護予防や生活機能の強化に努めることができた。また、地域に身近な委託地域包括支援センターへの引継ぎを強化し、市民が身近に相談できる場の周知を図った。
課題	業務 組織、予算等
改善目標	KDBシステムから対象者の抽出を実施し、委託地域包括支援センター等と連携を図り、実態把握に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	363 認知症サポーター養成事業					
予算科目	08-030302-15 認知症サポーター養成事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民・市内に在勤
目的	認知症の方やその家族が地域で安心して暮らしていけるようにする。
概要 (取組内容)	認知症サポーター養成講座を開催することにより、同サポーターを養成するとともに、認知症相談窓口（各地域包括支援センター）を市民へ周知する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,871	2,787	2,742	2,742	
	決算額	(千円)	3,244	1,863	1,947	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	745	401	447	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,874	1,075	1,125	0	0
		その他	(千円)	625	387	375	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,670	9,692	7,005	7,005	7,005	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	1.40	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページへの掲載
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	認知症サポーター養成者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	3,082.0	452.0	478.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	参集形式での認知症サポーター養成講座を実施すると共に、オンライン開催も取り入れながら開催することができた。	
成果	コロナ禍の中、オンライン開催も取り入れながら認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターの養成ができた。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染状況では、参集形式での開催が引続き困難なことが予想される。認知症サポーター養成講座については、密にならない対策を講じた開催ができることを、学校や企業等に向けて周知する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	認知症サポーター養成講座については、参集形式だけでなくオンライン対応を行い開催数を増やしていく。認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの活動意欲が低下しないよう働きかけも必要である。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	364 成年後見制度活用支援					
予算科目	08-030302-14 成年後見制度利用支援事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
	成年後見制度利用促進法				11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が、認知症等により判断能力が低下し、金銭管理、契約行為を行うことが著しく困難となった場合の権利を擁護する。
概要 (取組内容)	成年後見制度を利用し高齢者の権利擁護を図る。必要に応じ成年後見制度の市長申立てを行う。市からつくば市社会福祉協議会への委託により設置された中核機関において成年後見制度に関する相談を受け、支援を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,242	2,279	2,279	
	決算額	(千円)	100	786	46	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	23	181	11	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	58	454	26	0	0
		その他	(千円)	19	151	9	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,394	3,437	2,771	2,771	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.50	0.40	0.40	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	15.00	15.00	15.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	成年後見制度相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	65.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	成年後見制度利用促進計画に基づき、地域連携ネットワークを構築し、中核機関の周知啓発や、関係団体等と連携により、権利擁護支援体制を強化することができた。また、つくば市成年後見制度利用支援事業実施要綱を改訂し、費用負担が難しい人でも制度利用が可能な体制を作ることができた。	
成果	つくば市成年後見制度利用推進事業実施要綱、改訂 つくば市成年後見制度利用支援事業助成金支給：2件 成年後見制度市長申立て：2件	
課題	業務	令和元年度に養成した市民後見人の活用が十分とは言えない。
	組織、予算等	中核機関への成年後見制度利用に関する相談が増加傾向にあり、業務量が増大している。
改善目標	成年後見制度利用促進計画に基づき、地域連携ネットワークを構築し、中核機関の周知啓発、関係団体等と連携し、権利擁護支援体制の強化を行う。令和元年度に養成した市民後見人を十分に活用できる仕組みづくりを行っていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	365 介護予防支援事業					
予算科目	08-050101-11 指定介護予防支援事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護サービスを利用することで、できる限り居宅で自立した生活を継続できるようにする。
概要 (取組内容)	介護サービス利用のための介護予防ケアマネジメントを居宅支援事業所に委託する。 適切なケアプラン作成、サービス提供に向け介護支援専門員からの相談等に対する支援 国民健康保険団体連合会への請求業務、居宅介護支援事業所への委託料支払業務

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	10,730	861	237	237	
	決算額	(千円)	16,984	3,694	59	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	16,984	3,694	59	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,009	10,642	7,517	5,743	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.50	1.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	180.00	0.00	1,800.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	介護予防支援委託件数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	521.0	186.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和3年省令改正及び告示改正により、指定介護予防支援事業所の運営規定の見直しや介護報酬請求に関連する書類の見直し及び整備が必要。見直し及び整備した業務について、市内設置の地域包括支援センター（以下「センター」という。）への適切な業務遂行のための指導が必要。	
成果	各センターの介護予防ケアマネジメント業務の進捗状況や課題について意見交換を実施。介護予防ケアマネジメント業務を委託している居宅介護支援事業所において、理解不足や業務遅延等、適切なケアマネジメントが遂行されていない状況もあることから、理解の得られやすいマニュアルの再作成及び周知を行った。	
課題	業務	業務マニュアルについては、ポイントを抑えた説明等、理解が得られやすい内容に改訂する。各センター及びセンターから業務委託を受けている居宅介護支援事業所において、制度を理解し、業務に滞りが生じることなく基準に準拠した業務を行えるように指導することが必要。
	組織、予算等	センター間意見交換から、業務遂行の滞りとなる課題を把握できたことから、定期的に課題を把握し、対応に遅れが生じないための支援を行うとともに、改善事項は早期に指導を行うことが必要。
改善目標	(通年) センターにおける介護予防ケアマネジメント業務の管理が徹底されるよう、センターでの課題を把握し、助言及び指導を行う。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	366 在宅医療・介護連携推進事業					
予算科目	08-030301-12 在宅医療・介護連携推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
	II-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業分類	自治事務（任意）
	II-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護の専門職や関係機関の連携強化を図り、連携を推進する体制を整備する。
概要 (取組内容)	つくば市の在宅医療・介護連携に関する課題に対して、推進協議会で解決に向けた検討を行う。医療介護の関係機関を対象とした意見交換会や研修会の開催、在宅医療市民啓発講座を行い、つくば市の医療と介護の連携が推進される仕組みづくりを推進する。

コストの推移

項目		令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円) 0	4,648	4,234	3,963	3,963	
	決算額	(千円) 3,449	2,586	2,761	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 793	594	636	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 1,992	1,494	1,594	0	0
		その他	(千円) 664	498	531	0	0
人件費	人件費計	(千円) 13,813	10,446	9,128	9,128	9,128	
	内訳	正職員従事割合	(人) 2.00	1.50	1.30	1.30	1.30
		正職員時間外勤務	(時間) 100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	在宅医療・介護連携推進協議会
実行	市ホームページ掲載
評価、検証	在宅医療・介護連携推進協議会・地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	多職種研修会等の参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0
	実績	441.0	323.0	970.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実) (II-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実※指標内訳地域リーダー研修、CM研修、講座、意見交換会等参加者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業の進捗、評価を行う事業指標の数値目標を設定した。	
成果	事業の評価指標を絞り込み、関係団体の意見も取り入れた数値目標を設定することができた。介護保険認定更新者へのアンケートを開始し、評価指標の収集に繋げることができた。感染症拡大の時期でも、オンラインを活用して会議や専門職の研修を開催することができた。また、市民に対し、在宅医療啓発講座の動画を配信し普及啓発を図ることができた。	
課題	業務	連携ツールの活用が十分とは言えない。 研修会の参加職種が固定化されてきている。
	組織、予算等	
改善目標	感染症拡大に対応した市民への普及啓発の方法を検討する。連携ツールをより使いやすいものにし、普及を図る。対象職種や内容を変えた新たな研修会を企画する。実情に応じ、実務部会を再編する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	367 地域ケア会議推進事業					
予算科目	08-030301-14 地域ケア会議推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	II-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	全て委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域のネットワーク構築及びケアマネジメント支援、並びに地域課題の把握等を推進する。
概要 (取組内容)	地域・圏域別・個別の3種のケア会議を開催することにより、地域課題を発見し、その課題解決に向けた社会資源の開発や政策提言につなげる。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	562	584	438	438	
	決算額	(千円)	344	284	353	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	80	149	185	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	198	99	123	0	0
		その他	(千円)	66	36	45	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,639	7,046	5,711	4,344	4,344	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	1.00	0.80	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	地域ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	3.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-1-④)地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)					

2	指標名	圏域別ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
	実績	33.0	26.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	自立支援型ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	実績	10.0	8.0	11.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	民生委員に会議への出席を求めているが、コロナ禍の中、会議もオンライン開催となっており参加に繋がりにくい状況である。今年度は各圏域の生活支援コーディネーターに出席を依頼し、インフォーマルサポートに関する意見を会議に反映させた。	
成果	コロナ禍においても、圏域別ケア会議を参集形式やオンラインで開催し、個別事例の課題解決を通して地域の課題抽出や新たなネットワーク構築ができた。圏域別ケア会議運営の平準化を図るため、各委託地域包括支援センターにファシリテーション研修を実施し、会議運営の課題を確認することができた。検討した事例の分析を実施するための手順や地域課題分類表の見直しを行った。	
課題	業務	圏域別ケア会議は各委託地域包括支援センターが主体となり運営しているが、安定した運営を実施していくために、引き続き研修会の実施や、各センター間での意見交換会の支援が必要である。
	組織、予算等	個別ケア会議へ専門職（医師、弁護士等）の配置が必要なケースがある。庁内の専門職を調整した上で、不足する専門職を確保する費用が必要。
改善目標	圏域別ケア会議で出された各圏域の地域課題について、会議出席者と共有する時間を設ける。介護支援専門員の事例だけでなく、専門職（医療）の事例や、介護支援専門員が関わる前の事例など幅広い事例を検討し、新たな地域の課題抽出やネットワーク構築に繋げていく。個別ケア会議の実施数を増やしていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	368 認知症総合支援事業					
予算科目	08-030301-13 認知症総合支援に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。
概要 (取組内容)	認知症専門医の指導の下、専門職が認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、かかりつけ医と連携しながら認知症に対する適切な治療に繋げて、自立生活のサポートを行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	9,209	11,830	12,316	0	
	決算額	(千円)	7,917	7,154	7,457	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,821	1,646	1,716	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,572	4,131	4,306	0	0
		その他	(千円)	1,524	1,377	1,435	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,927	9,594	8,274	8,274	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	1.40	1.20	1.20	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページに掲載
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会、認知症初期集中支援チーム検討委員会

指標の推移

1	指標名	認知症カフェ開催数（延べ）					（ 会議 ）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	36.0	36.0	40.0	40.0	50.0	50.0	
	実績	43.0	27.0	40.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要							

2	指標名	認知症カフェ参加数（延べ）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	830.0	217.0	359.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	認知症カフェは、未設置の圏域での開設に向けて、委託事業所の候補と協議を重ねた。認知症初期集中支援チームのケース把握については、認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに設置し対応した。	
成果	認知症カフェは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で新規開設には至らなかったが、コロナ禍終息後の開設に向けて協議できた。認知症初期集中支援チームでは、支援困難なケースを中心に地域包括支援センターと連携し必要な医療や介護につなげられるよう支援することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	認知症カフェで未設置の圏域がある。
改善目標	認知症カフェの未設置圏域での新規開設を目指す。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	369 生活支援体制整備事業					
予算科目	08-030301-15 生活支援体制整備に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	Ⅱ-1	1	1	世代を超えた交流の拠点整備（サロン等）	新規・継続	継続
	Ⅱ-1	1	2	見守りやゴミ出し、買い物支援等の地域の	事業分類	自治事務（義務）
	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が地域で自立した日常生活を送れるよう支援するとともに、要介護状態の軽減（予防）を図る。
概要 (取組内容)	地域の多様な主体がメンバーとなり、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「第2層協議体」を各圏域ごとに設置する。協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、地域の実情に詳しい「生活支援コーディネーター」の配置を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	29,179	30,906	31,063	31,063	
	決算額	(千円)	4,879	28,680	30,636	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,123	6,596	7,045	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,817	16,563	17,693	0	0
		その他	(千円)	939	5,521	5,898	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,906	6,923	6,273	6,273	3,539	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.90	0.90	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	生活支援体制整備推進会議
実行	市ホームページ掲載、生活支援体制整備推進会議
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会、生活支援体制整備推進会議

指標の推移

1	指標名	第2層協議体の設置数 (か所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	実績	7.0	7.0	7.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-1-①世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充) (Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	第2層協議体を各圏域で開催し、小地域や自治会単位で挙げた協議内容を共有し地域住民の理解を深めたほか、広報紙を利用した事業の周知、さらに地域包括支援センターやケアマネジャーなどの専門職に対しても事業の共有、協議を行うことができた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 各圏域のコーディネーターが地域ニーズを把握し、住民と協働して、集いの場や生活支援の仕組みなど、社会資源を構築することができた。 第1層協議体においては、各圏域から挙げた地域課題（移動支援、活動場所など）について、今後の方向性について協議を始めることができた。
課題	<p>業務</p> <p>第1層協議体では、各地域課題に対する仕組みづくりなどについての具体的な協議が更に必要である。また、各圏域で、集いの場は多数作られてきているが、生活支援などの社会資源構築につながっているケースは少ない。</p> <p>組織、予算等</p> <p>第1層協議体の協議方法について、地域でまんべんなく委員の意見を聞けるような組織体制が望まれる。</p>
改善目標	第1層協議体では、各地域課題に対してワーキンググループを形成し、課題解決に向けての具体的な方向性を見出す。第2層協議体では、小地域や自治会単位での地域課題や活動について情報共有、意見交換し、集いの場や生活支援等の社会資源創設につなげていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	370 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」					
予算科目	08-030101-14 短期集中予防サービスに要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	生活機能の低下や低栄養・口腔機能の低下が認められる要支援1、2または事業対象者に対して、短期集中での支援を行う。
概要 (取組内容)	介護保険法の「介護予防・日常生活支援総合事業」により、市町村が中心となり地域の実情に応じた多様なサービスを充実させることで要支援者等に対する効果的で効率的な支援等を目指す。 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」は、①運動機能向上プログラム、②低栄養改善・口腔機能向上プログラムの2つからなるサービスである。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,920	1,920	960	960	
	決算額	(千円)	496	896	544	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	114	474	288	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	186	310	188	0	0
		その他	(千円)	196	112	68	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,035	681	684	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.10	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	利用後アンケート

指標の推移

1	指標名	訪問型サービスC利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	6.0	11.0	7.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ケアマネジャーへの事業周知を図るため、ケアマネジャー連絡会で研修会を企画した。	
成果	本事業の利用促進のため、ケアマネジャーの理解を深めることができた。 そのほかにも、市民向けになじみ深いチラシを作成したり、 介護情報から抽出された対象者に個別通知をすることで事業の周知を図ることができた。	
課題	業務	より多くの要支援1・2相当の市民に本事業を提供できるよう、さらに周知を図っていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	要支援1・2認定者だけでなく、チェックリスト等を活用して総合事業対象者の掘り起こしをすることで事業を推進していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	371 はいかい高齢者家族支援サービス事業					
予算科目	08-030302-12 高齢者生活支援に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護を行う家族の負担の軽減を図る。
概要 (取組内容)	認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者に位置情報端末機を貸出し、万が一、行方がわからなくなった場合に、位置情報等を特定し、知らせることで、家族が保護できるように支援する。家族等から申請を受け、市で対象条件を確認して決定後、機器を貸与する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	506	480	527	0	
	決算額	(千円)	25	26	57	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5	6	13	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15	15	33	0	0
		その他	(千円)	5	5	11	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	680	684	684	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページへの掲載
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	支援サービス利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	8.0	9.0	12.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	端末機を貸与している人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域包括支援センター職員や介護支援専門員に対し、事業の周知を行った。また、新規契約者に対し利用時の注意点を伝えた。	
成果	介護支援専門員に事業説明をしたことで、対象になる可能性のある方への情報提供がなされ、利用を希望する方が増加した。 事業の利用により、認知症高齢者等を介護する家族の負担軽減を図ることができた。	
課題	業務	引き続き、市民や関係職種に対し当事業の周知を行う必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	市民や、関係職種に対し周知活動を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	875 地域包括ケアシステム推進事業					
予算科目	01-030102-24 地域包括ケアシステム推進事業に要す			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	II-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	単年度
根拠法令等	地域ケア基盤整備推進事業実施要項及び補助金交付要項				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	在宅医療・訪問看護・訪問リハビリテーション事業者
目的	在宅医療サービスの基盤整備の充実を図る。
概要 (取組内容)	地域ケア基盤整備推進事業実施要項及び補助金交付要項に基づいた補助事業により、在宅医療の充実のための整備に対する支援を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,525	3,525	3,525	3,525	
	決算額	(千円)	0	976	3,192	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	325	1,064	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	651	2,128	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	680	684	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	在宅療養支援診療所 (か所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0
	実績	50.0	33.0	35.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-1-④)地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)						

2	指標名	訪問看護事業所 (か所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	17.0
	実績	12.0	14.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	訪問リハビリテーション事業所 (か所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
	実績	5.0	7.0	8.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	対象となりうる事業者に早期の周知、案内を行った。	
成果	申請3件。 補助金交付2件（訪問歯科診療所取組拡充に伴う訪問用自動車及び医療機器購入補助、訪問看護ステーション取組拡充に伴う訪問用自動車購入補助） 事業廃止1件	
課題	業務	
	組織、予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	000 地域リハビリテーション活動支援事業					
予算科目	08-030201-16	地域リハビリテーション活動支援事業			担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約					係名	介護予防係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	通所系、訪問系サービス提供事業所やサービス担当者会議、住民主体の通いの場等へリハ専門職を派遣し介護予防の取り組みを総合的に支援する。
概要 (取組内容)	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などのリハビリテーション専門職を、サービス提供事業所や住民主体の通いの場、介護職員等へ派遣し、介護予防に関する技術的助言、サービス担当者会議におけるケアマネジメント支援を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	147	359	359	359	
	決算額	(千円)	42	51	218	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11	25	114	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15	19	76	0	0
		その他	(千円)	16	7	28	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	680	684	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	利用後アンケート

指標の推移

1	指標名	訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	11.0	12.0	34.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	利用促進のため、市民になじみ深いチラシを作成し、広報に掲載することで周知拡大を図った。	
成果	団体向け利用については、地区のリーダー的存在を発掘し、新たな団体に事業のPRを行ったことで実績が伸びた。 個別利用については、実態把握事業での利用勧奨によって、大幅に実績が伸びた。 また、広報やネーミングを工夫したことで、市民からの問合せが増加した。	
課題	業務	利用促進のための更なる周知活動が必要と思われる。
	組織、予算等	
改善目標	総合事業および実態把握事業との事業連携を生かして、支援の必要な対象者を発掘する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-